

RMT5001-VTC2

C5000 シリーズ

VTC5102 用リモートコントローラー

取扱説明書

Ver 1.00



COSMIC ENGINEERING

株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。


警告
■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
 このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
 本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。


■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。


■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
 落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、
 落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
 コンセントから抜いてください。


■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
 機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
 火災・感電・故障の原因となります。


■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因となります。


■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。


■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
 電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。


■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。


■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
 から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。




注意
■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。


■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。


■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
 湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。


■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。


■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。


■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。


■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。


■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
 本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
 海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目次

- 表紙..... 1
- はじめにお読みください..... 2
- 目次..... 5

- 1. 概要..... 6
- 2. 構成..... 6
- 3. 操作説明..... 7
 - 3-1. 各部の名称..... 7
 - 3-1-1. フロントパネル..... 7
 - 3-1-2. リアパネル..... 8
 - 3-2. 基本操作..... 9
 - 3-3. 操作モード切り替え..... 10
 - 3-4. スーパー操作..... 19
- 4. 据付方法..... 20
 - 4-1. 接続..... 20
 - 4-1-1. 電源ケーブルの接続..... 20
 - 4-1-2. VTC5102 との接続..... 20
 - 4-1-3. C5002/C5001 との接続..... 20
- 5. 定格および電気的特性..... 21
- 6. 外観図..... 22
- 7. お問い合わせ..... 23

1. 概要

- RMT5001-VTC2 は、ビデオタイマー・カウンター・モジュール VTC5102 用リモートコントローラーです
- EIA-1RU の 19 インチラックマウントサイズです。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

RMT5001-VTC2 は本体と付属品で構成されています。

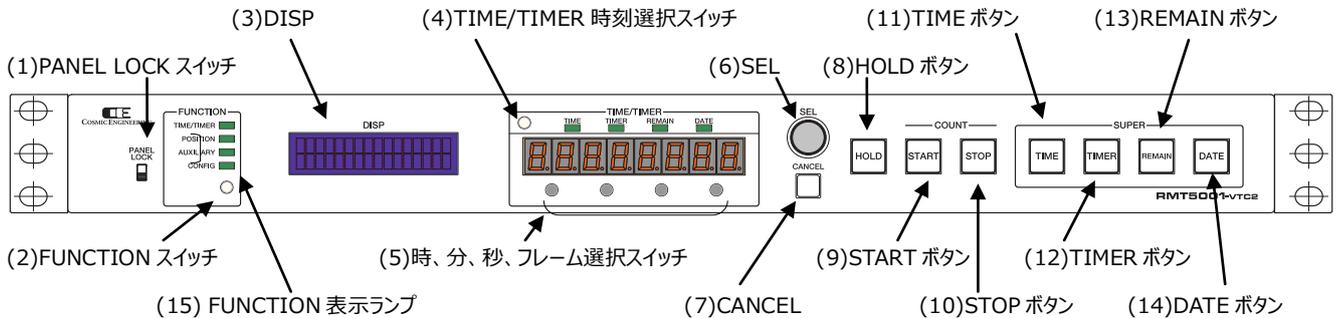
下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品名	型名	数量	備考
リモートコントローラー	RMT5001-VTC2	1	本体
電源ケーブル		1	
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 操作説明

3-1. 各部の名称

3-1-1. フロントパネル



(1) PANEL LOCK スイッチ

フロントパネルの操作をロック・解除します。

PANEL LOCK スイッチを上側になるとフロントパネルの操作をロックします。下側になるとロックが解除され、フロントパネルの操作ができるようになります。

(2) FUNCTION スイッチ

操作モードの切り替えを行います。

(3) DISP

操作モードに応じてメニューの表示やステータスの表示などを行います。

(4) TIME/TIMER 時刻選択スイッチ

TIME/TIMER 設定モードのとき、時刻選択を行います。

(5) 時、分、秒、フレーム選択スイッチ

TIME/TIMER 設定モードのとき、桁選択を行います。

(6) SEL

モードに応じて各設定の上下選択・決定等を行います。

(7) CANCEL

操作モードに応じて各設定の変更のキャンセルを行います。

(8) HOLD ボタン

POSITION 設定モード以外のモードのとき、HOLD 動作を行います。

(9) START ボタン

POSITION 設定モード以外のモードのとき、START 動作を行います。START 点灯中に再度 START ボタンを押すと、タイマーは一時停止し PAUSE 状態となります。PAUSE 状態では、START ボタンが点滅し、点滅中に再度 START ボタンを押すとタイマーが引き続き動作を再開し、START ボタンは点灯状態となります。

(10) STOP ボタン

POSITION 設定モード以外のモードのとき、STOP 動作を行います。

(11) TIME ボタン

TIME のスーパーを行います。

(12)TIMER ボタン

TIMER のスーパーを行います。

(13)REMAIN ボタン

REMAIN のスーパーを行います。

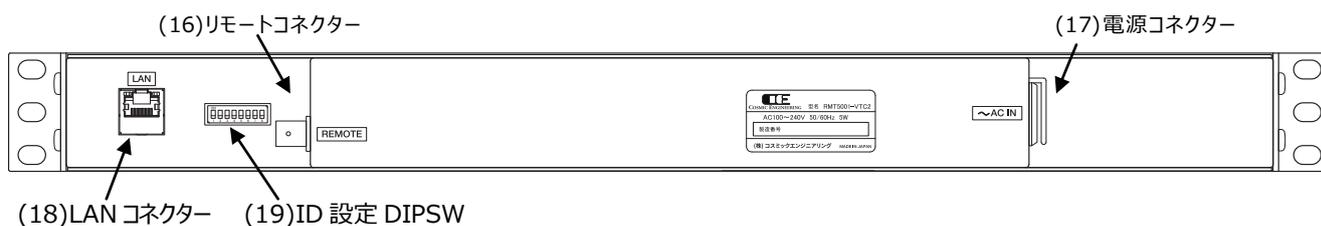
(14)DATE ボタン

DATE のスーパーを行います。

(15) FUNCTION 表示ランプ

操作モードに応じて点灯・消灯します。

3-1-2. リアパネル



(16)リモートコネクタ

VTC5102 と接続するコネクタです。

(17)電源コネクタ

付属品の電源ケーブルを接続するコネクタです。

(18)LAN コネクタ

VTC5102 を搭載した C5002/C5001 と接続する LAN コネクタです。1 台の VTC5102 に 2 台の RMT5001-VTC2 を接続時は LAN 接続が必須です。VTC5102 と RMT5001-VTC2 が 1 対 1 接続時は、接続する必要はありません。

ネットワークの出荷時設定は以下です。2 台の RMT5001-VTC2 を使用する場合、IP アドレス(IPv4)が重複しないよう設定してください。

設定項目	設定値
IP アドレス(IPv4)	192.168.0.11
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.100
C5000 フレーム IP	192.168.0.10
C5000 の VTC5102 搭載 Slot 位置 (若い方の Slot 番号)	1

(19)ID 設定 DIPSW

RMT5001-VTC2 の ID 設定用の DIPSW です。2 台の RMT5001-VTC2 を使用する場合は、2 台目の DIPSW 設定のビット 1 を ON に設定してください。ビット 8 は設定禁止ですので、OFF のまま使用してください。

DIP SW	設定値
bit1	OFF=1 台目,ON=2 台目
bit2~8	未使用。OFF のままに使用してください

3-2. 基本操作

各種詳細設定は(2)FUNCTION 選択スイッチで操作モードを選択し、(3)DISP に表示されるメニューや7セグメントLEDを参照しながら(6)SELと(7)CANCEL ボタンでメニュー設定操作を行います。

TIME/TIMER 設定モードのときは各時刻の値の参照や変更を行います。

(4)TIME/TIMER 時刻選択スイッチで TIME,TIMER,REMAIN,DATE を選択すると7セグメントLEDに値が表示されます。

その状態で(5)時、分、秒、フレーム選択スイッチで時間の桁を選択後、(6)SELと(7)CANCEL ボタンで値を設定します。

また、POSITION 設定モード以外のモードのとき、HOLD/START/STOP 動作を行うことができます。

スーパーのオンオフは常に行うことができます。

3-3. 操作モード切り替え

操作モードは以下のモードがあります。

- (a) STATUS 確認モード
- (b) TIME/TIMER 設定モード
- (c) POSITION 設定モード
- (d) AUXILIARY 設定モード(現在は未対応)
- (e) CONFIG 設定モード

(2)FUNCTION 選択スイッチを押下すると操作モードが(a)→(b)→(c)→(d)→(e)の順番に切り替わります。現在の操作モードはFUNCTION 表示ランプで確認できます。(e)CONFIG 設定モードにする場合は、(b)TIME/TIMER 設定モードのときFUNCTION 選択スイッチを1秒長押ししてください。CONFIG 設定モードからFUNCTION 選択スイッチを押下すると、(a)STATUS 確認モードに戻ります。操作モードとFUNCTION 表示ランプの対応は以下の通りです。

操作モード	FUNCTION 表示ランプ
STATUS 確認モード	消灯
TIME/TIMER 設定モード	TIME/TIMER 点灯
POSITION 設定モード	POSITION 点灯
AUXILIARY 設定モード(現在は未対応)	AUXILIARY 点灯
CONFIG 設定モード	CONFIG 点灯

ここで、各モードの説明をします。

(1) STATUS 確認モード

STATUSを確認するモードです。

DISP に出力フォーマットと REF 入力フォーマットを表示します。REF 入力がないときは NO SIGNAL または UNKNOWN 表記になります。

OUT:1080159
REF:525159

(2) TIME/TIMER 設定モード

時刻関係の値の変更や現在値の確認、プリセット番号の変更、桁の表示/非表示の変更を行うモードです。

DISP1 行目に現在の時刻ソースの状態が表示されます。また、TIME/TIMER 時刻選択スイッチで TIMER, REMAIN を選択しているとき、

2 行目に現在のプリセット番号と 7 セグメント LED に表示中のプリセット番号を表示します。

TIME MODE	RS485
CUR:P1	P1

DISP1 行目に表示される項目は以下の表の通りです。

表示文字	状態
INTER.	時刻ソースが内部時刻で、REF 入力が正常
RS485	時刻ソースが RS485 で、REF 入力と RS485 入力が正常
LTC	時刻ソースが LTC で、REF 入力と LTC 入力が正常
ATC	時刻ソースが ATC で、REF 入力が正常
UNLOCK	REF 入力または時刻ソース入力が UNLOCK
ERR	時刻ソース入力が異常

値の変更は TIMER, REMAIN のみ行うことができ、TIME, DATE は現在値の表示のみ行います。以下手順で行います。

COUNT が START していれば STOP します。TIME/TIMER 時刻選択スイッチで TIME, TIMER, REMAIN, DATE を切り替えます。このとき 7 セグメント LED にそれぞれの現在値が表示されます。TIMER, REMAIN を選択している場合、DISP に現在のプリセット番号と表示中のプリセット番号を表示します。SEL を回転すると表示プリセット番号を上下することができ、連動して 7 セグメント LED の表示も変わります。また、SEL 押下すると表示中のプリセット番号を現在のプリセット番号に設定することができます。

時、分、秒、フレーム選択スイッチで変更したい時間の桁を選択すると 7 セグメント LED の該当桁が点滅し、SEL の回転にて値を変更できます。変更後、SEL 押下で値が確定します。CANCEL を押した場合、元の値に戻り、点滅が止まります。

表示/非表示の変更は、時、分、秒、フレーム選択スイッチを 1 秒長押しで切り替えることができます。残時間のフレーム桁は値を変更できませんが、非表示固定です。

(3) POSITION 設定モード

各時刻の位置を変更するモードです。

以下メニューが DISP に表示されるので、SEL で項目選択し、SEL 押下で下位階層に入り値変更できるようになります。値変更は SEL で行います。設定値はリアルタイムで反映されます。SEL 押下で確定し上位階層のメニューに戻ります。CANCEL を押下した場合または 1 分間操作がなかった場合、元の値に戻り、上位階層に戻ります。値変更時は HOLD,START,STOP を押下しながら SEL 回転することで微調整/粗調整できます。移動量は以下の表の通りです。

操作方法	移動量
SEL 回転のみ	10
HOLD 押下 + SEL 回転	1
START 押下 + SEL 回転	50
STOP 押下 + SEL 回転	100

POSITION

— TIME POS H	0~1919
— TIME POS V	0~1079
— TIMER P1 POS H	0~1919
— TIMER P1 POS V	0~1079
— TIMER P2 POS H	0~1919
— TIMER P2 POS V	0~1079
— TIMER P3 POS H	0~1919
— TIMER P3 POS V	0~1079
— TIMER P4 POS H	0~1919
— TIMER P4 POS V	0~1079
— TIMER P5 POS H	0~1919
— TIMER P5 POS V	0~1079
— TIMER P6 POS H	0~1919
— TIMER P6 POS V	0~1079
— TIMER P7 POS H	0~1919
— TIMER P7 POS V	0~1079
— TIMER P8 POS H	0~1919
— TIMER P8 POS V	0~1079
— REMAIN P1 POS H	0~1919
— REMAIN P1 POS V	0~1079
— REMAIN P2 POS H	0~1919
— REMAIN P2 POS V	0~1079
— REMAIN P3 POS H	0~1919
— REMAIN P3 POS V	0~1079
— REMAIN P4 POS H	0~1919
— REMAIN P4 POS V	0~1079
— REMAIN P5 POS H	0~1919

—	REMAIN P5 POS V	0~1079
—	REMAIN P6 POS H	0~1919
—	REMAIN P6 POS V	0~1079
—	REMAIN P7 POS H	0~1919
—	REMAIN P7 POS V	0~1079
—	REMAIN P8 POS H	0~1919
—	REMAIN P8 POS V	0~1079
—	DATE POS H	0~1919
—	DATE POS V	0~1079

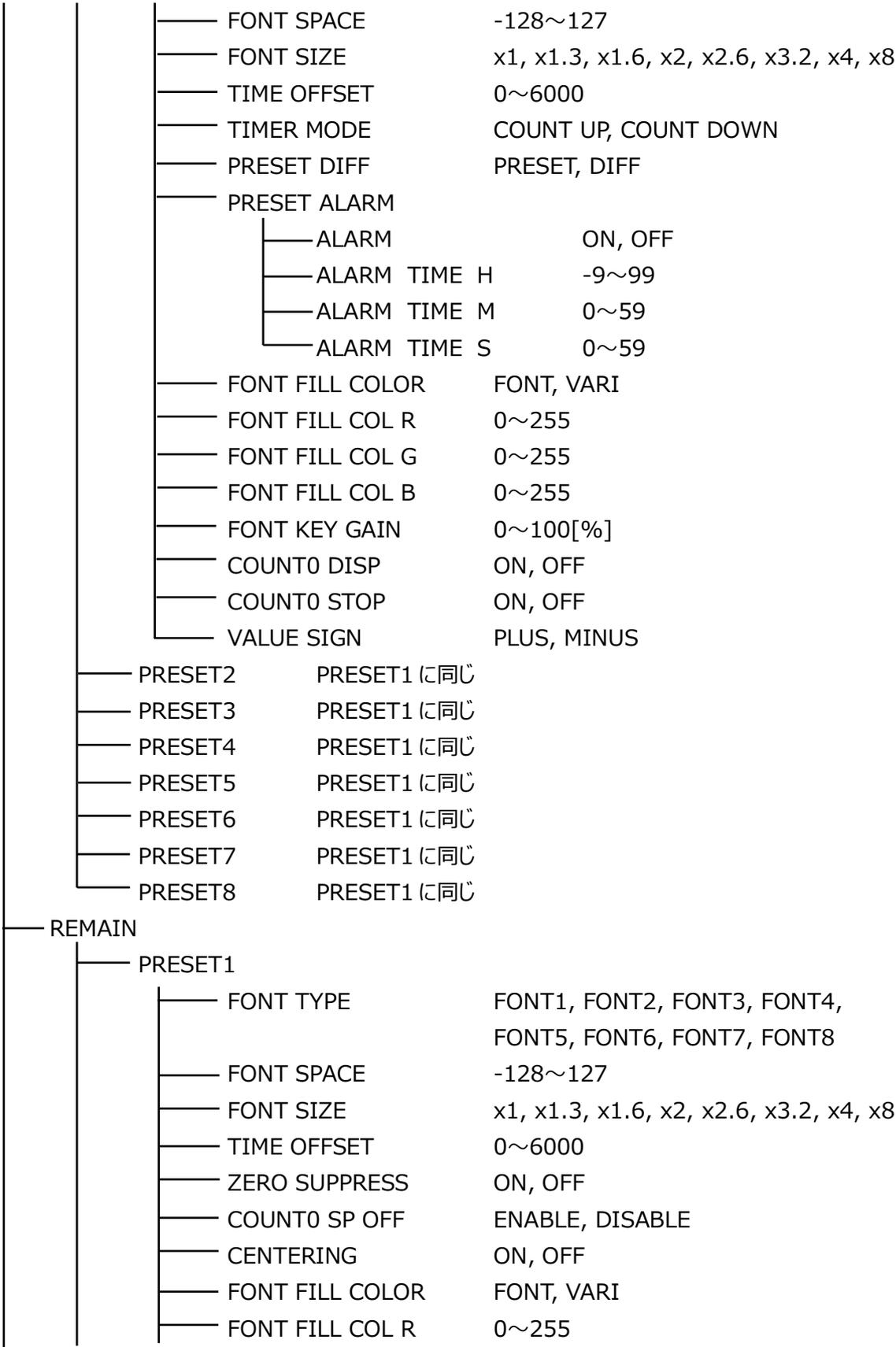
(4) CONFIG 設定モード

詳細設定を行うモードです。

以下メニューが DISP に表示されるので、SEL で項目選択し、SEL 押下でメニューの下位階層に入ります。メニューの最下層に入った場合、設定値の変更ができるので SEL で値または選択肢を変更してください。設定値はリアルタイムで反映されます。SEL 押下で確定し上位階層のメニューに戻ります。CANCEL を押下した場合または 1 分間操作がなかった場合、設定値が元に戻り、上位階層に戻ります。

SYSTEM CONFIG

—	TIME		
—	—	TIME SOURCE	RS485, LTC, LTC-DATE, INTERNAL CLOCK, ANC
—	—	LTC-DATE FORMAT	LEITCH, SMPTE ST309
—	—	FONT TYPE	FONT1, FONT2, FONT3, FONT4, FONT5, FONT6, FONT7, FONT8
—	—	FONT SPACE	-128~127
—	—	FONT SIZE	x1, x1.3, x1.6, x2, x2.6, x3.2, x4, x8
—	—	TIME OFFSET	0~6000
—	—	PLATE	ON, OFF
—	—	PLATE SIZE X	1~1920
—	—	PLATE SIZE Y	1~1080
—	—	PLATE OFFSET X	-1920~1920
—	—	PLATE OFFSET Y	-1080~1080
—	—	PLATE COLOR R	0~255
—	—	PLATE COLOR G	0~255
—	—	PLATE COLOR B	0~255
—	—	PLATE COLOR A	0~255
—	—	TIME 24H/30H	12H, 24H, 25H, 26H, 27H, 28H, 29H, 30H
—	—	COUNT MODE	FRAME, 1/100SEC
—	—	FONT FILL COLOR	FONT, VARI
—	—	FONT FILL COL R	0~255
—	—	FONT FILL COL G	0~255
—	—	FONT FILL COL B	0~255
—	—	FONT KEY GAIN	0~100[%]
—	TIMER		
—	—	PRESET1	
—	—	—	FONT TYPE
			FONT1, FONT2, FONT3, FONT4, FONT5, FONT6, FONT7, FONT8



—	—	FONT FILL COL G	0~255
—	—	FONT FILL COL B	0~255
—	—	FONT KEY GAIN	0~100[%]
—	—	PRESET2	PRESET1 に同じ
—	—	PRESET3	PRESET1 に同じ
—	—	PRESET4	PRESET1 に同じ
—	—	PRESET5	PRESET1 に同じ
—	—	PRESET6	PRESET1 に同じ
—	—	PRESET7	PRESET1 に同じ
—	—	PRESET8	PRESET1 に同じ
—	GPIO SETTING		
—	—	GPI1 SETTING	REMAIN START, REMAIN STOP, TIMER START, TIMER STOP, HOLD, TIME SP ON, TIME SP OFF, TIMER SP ON, TIMER SP OFF, REMAIN SP ON, REMAIN SP OFF, DATE SP ON, DATE SP OFF, OFF, REMAIN P1 START, REMAIN P2 START, REMAIN P3 START, REMAIN P4 START, REMAIN P5 START, REMAIN P6 START, REMAIN P7 START, REMAIN P8 START, TIMER P1 SET, TIMER P2 SET, TIMER P3 SET, TIMER P4 SET, TIMER P5 SET, TIMER P6 SET, TIMER P7 SET, TIMER P8 SET, TIMER P1 START, TIMER P2 START, TIMER P3 START, TIMER P4 START, TIMER P5 START, TIMER P6 START, TIMER P7 START, TIMER P8 START, REMAIN PAUSE, TIMER PAUSE
—	—	GPI2 SETTING	GPI1 SETTING に同じ
—	—	GPI3 SETTING	GPI1 SETTING に同じ
—	—	GPI4 SETTING	GPI1 SETTING に同じ
—	—	GPI5 SETTING	GPI1 SETTING に同じ
—	—	GPO1 SETTING	REMAIN START, REMAIN STOP, TIMER START, TIMER STOP, HOLD, TIME SP ON, TIME SP OFF, TIMER SP ON, TIMER SP OFF,

	REMAIN SP ON, REMAIN SP OFF, DATE SP ON, DATE SP OFF, OFF, ALARM OUT, REMAIN PAUSE, TIMER PAUSE
—GPO2 SETTING	GPO1 SETTING に同じ
—GPO3 SETTING	GPO1 SETTING に同じ
—GPO4 SETTING	GPO1 SETTING に同じ
—GPO5 SETTING	GPO1 SETTING に同じ
—GPI1 MODE	LEVEL, PULSE
—GPI2 MODE	GPI1 MODE に同じ
—GPI3 MODE	GPI1 MODE に同じ
—GPI4 MODE	GPI1 MODE に同じ
—GPI5 MODE	GPI1 MODE に同じ
—GPO1 MODE	LEVEL, PULSE
—GPO2 MODE	GPO1 MODE に同じ
—GPO3 MODE	GPO1 MODE に同じ
—GPO4 MODE	GPO1 MODE に同じ
—GPO5 MODE	GPO1 MODE に同じ
—MODE	SIMUL, MULTI, SINGLE (現在のバージョンでは、SINGLE のみ表示されます)
—REF SEL	FRAME, SDI IN
—MODULE SEL	VTC1, VTC2, ...VTC16 (接続している VTC が表示されます)
—DIPSW	0x00~0xff (ON:1, OFF:0 として 16 進数で表示されます)
—RS485 CTL	OFF, LTC, RS485, RTC, REMAIN, TIME, TIMER
—LTC CTL	OFF, LTC, RS485, RTC, REMAIN, TIME, TIMER
—NETWORK	
—THIS IP 1	RMT5001-VTC2 の IP(IPv4)設定① (default: 192)
—THIS IP 2	RMT5001-VTC2 の IP(IPv4)設定② (default: 168)
—THIS IP 3	RMT5001-VTC2 の IP(IPv4)設定③ (default: 0)
—THIS IP 4	RMT5001-VTC2 の IP(IPv4)設定④ (default: 11)
—NETMASK 1	RMT5001-VTC2 の ネットマスク設定① (default: 255)
—NETMASK 2	RMT5001-VTC2 の ネットマスク設定② (default: 255)
—NETMASK 3	RMT5001-VTC2 の ネットマスク設定③ (default: 255)
—NETMASK 4	RMT5001-VTC2 の ネットマスク設定④ (default: 0)
—GATEWAY 1	RMT5001-VTC2 の ゲートウェイ設定① (default: 192)
—GATEWAY 2	RMT5001-VTC2 の ゲートウェイ設定② (default: 168)
—GATEWAY 3	RMT5001-VTC2 の ゲートウェイ設定③ (default: 0)
—GATEWAY 4	RMT5001-VTC2 の ゲートウェイ設定④ (default: 100)

TARGET IP 1	C5000 の IP(IPv4)設定① (default: 192)
TARGET IP 2	C5000 の IP(IPv4)設定② (default: 168)
TARGET IP 3	C5000 の IP(IPv4)設定③ (default: 0)
TARGET IP 4	C5000 の IP(IPv4)設定④ (default: 10)
TARGET VTC	C5000 の VTC5102 スロット位置 (default: 1)
TARGET PORT	C5000 の通信ポート (default: 161)
MAC ADDR	RMT5001-VTC2 の MAC アドレス
SERIAL NO	RMT5001-VTC2 のシリアル番号

3-4. スーパー操作

POSITION 設定モード以外のモードのとき、HOLD/START/STOP 操作をリアルタイムに行うことができます。

スーパーのオンオフはどのモードでも行うことができます。

(1) HOLD 操作

時刻選択スイッチで TIMER または REMAIN を選択している場合に有効です。HOLD ボタンを押下するとボタンが点灯し、スーパーしている時刻のみ表示をホールドすることができます。内部でのカウントは進みますので、再度 HOLD ボタンを押すと現在の値を表示します。

(2) COUNT START 操作

時刻選択スイッチで TIMER または REMAIN を選択している場合に有効です。COUNT STOP 状態で START ボタンを押下すると STOP ボタンは消灯、START ボタンが点灯し、選択している時刻のカウントが開始します。点灯中に再度 START ボタンを押下するとカウント一時停止状態になり、START ボタンが点滅します。点滅状態で再度 START ボタンを押下すると、カウントが再開され、START ボタンが点灯します。

(3) COUNT STOP 操作

時刻選択スイッチで TIMER または REMAIN を選択している場合に有効です。COUNT START 状態で STOP ボタンを押下すると START ボタンは消灯、STOP ボタンが点灯し、選択している時刻のカウントが停止します。

(4) SUPER ON/OFF 操作

TIME, TIMER, REMAIN, DATE ボタンは押下するとそれぞれに応じ時刻、プリセットカウントタイマー又は時差カウントタイマー、残時間、日付のスーパーのオン、オフを行います。スーパーがオンの時刻ボタンは点灯し、オフの時刻ボタンは消灯します。

4. 据付方法



注意

ご使用のフレームの電源がオフであることを確認してから作業を行ってください。電源がオフでないと機器間のGND電位差による感電、機器の損傷等の可能性があります。また、静電気等により機器が損傷等する可能性がありますので、静電対策を行ってから作業を行ってください。

4-1. 接続

4-1-1. 電源ケーブルの接続

付属品の電源ケーブルのメス側を電源コネクタ(17)に接続して電源抜止金具で固定します。

電源ケーブルのオス側は AC コンセントに挿入して下さい。

設置場所の AC コンセントが 3 極でない場合は、市販のプラグアダプターを使用いただき、必ずプラグアダプターのアース線を施設のアース端子に接続してください。

※ 電源ケーブルに付属品以外をご使用になると、形状により電源抜止金具が使用できなくなる場合があります。

4-1-2. VTC5102 との接続

リモートコネクタ(16)と VTC5102 の CTL IN を BNC コネクタ(75Ω 同軸ケーブル)で接続します。

4-1-3. C5002/C5001 との接続

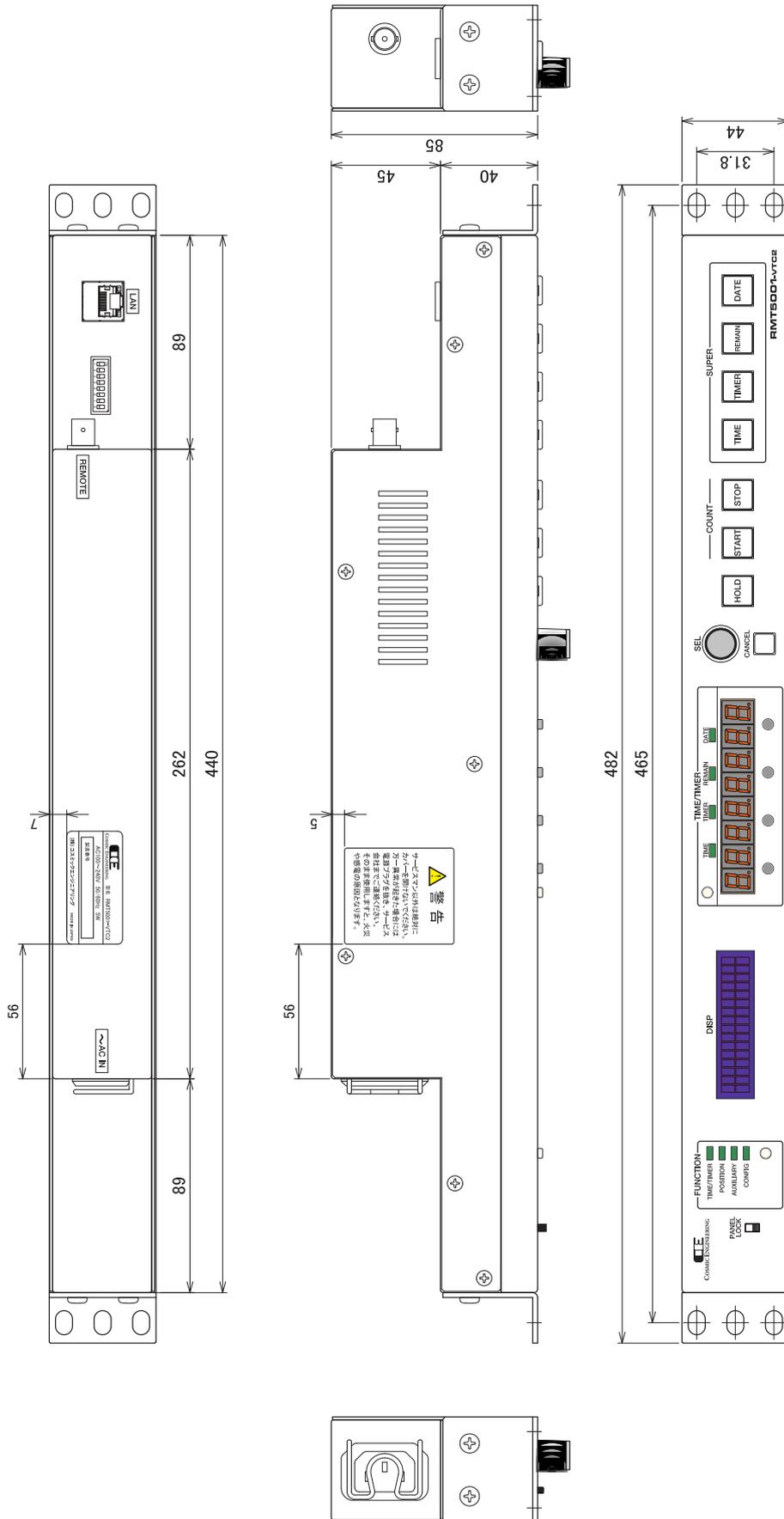
LAN コネクタ(18)と VTC5102 を搭載した C5002/C5001 の LAN コネクタをイーサネットスイッチ経由で接続してください。

VTC5102 と RMT5001-VTC2 を 1 対 1 で使用する場合は、接続する必要はありません。

5. 定格および電気的特性

リモート入出力	コネクター	BNC コネクター(75Ω 同軸ケーブル)x1
LAN 接続	コネクター	RJ-45x1
動作環境	0 ℃ ~ 40 ℃ 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	AC100V~240V±10%(AC90~264V) 50/60Hz	
消費電力	5W	
外形寸法	482 x 44 x 85 mm	
質量	1.5kg	

6. 外観図





7. お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp